

宮城県感染症発生動向調査情報(第12週)

宮城県【平成25年03月28日】発行
 宮城県保健環境センター
 TEL (022)257-7228

— 2013.3.18 ~ 3.24 ・ 第12週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								患者数	累計	宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市			第9週	第10週	第11週	第12週
水痘	7 1.40	11 1.10	6 1.20	4 2.00	2 0.67	12 2.40	1 0.50	35 1.35	78 1.34	962	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎	1 0.20	7 0.70	1 0.20			3 0.60	16 8.00	6 0.23	34 0.59	326	○ →	○ →	レ →	○
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	35 7.00	51 5.10	15 3.00	20 10.00	24 8.00	138 27.60	21 10.50	202 7.77	506 8.72	4,771	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病			2 0.40	1 0.50	3 1.00			1 0.04	7 0.12	135	→	→	→	
伝染性紅斑	2 0.40						7 3.50		9 0.16	96	→	→	→	
突発性発しん	3 0.60	8 0.80	5 1.00		4 1.33	3 0.60	2 1.00	20 0.77	45 0.78	380	○ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	20 2.50	7 0.47	28 3.50	14 4.67	45 9.00	26 3.25	19 4.75	54 1.29	213 2.29	14,203	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱	3 0.60	5 0.50			1 0.33	1 0.20		18 0.69	28 0.48	190	→	→	→	○
流行性角結膜炎											→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 3.20	27 2.70	4 0.80	1 0.50	6 2.00	60 12.00		34 1.31	148 2.55	1,288	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)						1 1.00			1 0.08	3	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		1 1.00	2 2.00	1 1.00		1 1.00	10 10.00	4 0.80	19 1.58	274	○ →	レ →	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症						2 0.40		7 0.27	9 0.16	172	→	→	→	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	5		1	1	1	2	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向 《週報の詳細》宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/				
	川崎病													
	不明発疹症								8					

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
仙南管内 女性1名
塩釜管内 男性1名、女性1名(第10週)
仙台管内 男性1名、女性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: 風しん
塩釜管内 男性1名(第11週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告 7例 (仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[感染性胃腸炎]
石巻管内で警報継続中。
患者数は横ばい状態であるが、全国的にはまだ流行がみられるので今しばらく注意を要する。

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
石巻管内で警報継続中。

[流行性耳下腺炎]
気仙沼管内で警報値を超えた。

[伝染性紅斑]
気仙沼管内で警報値を超えた。

[インフルエンザ]
全ての保健所管内で定点当たりの患者報告数が警報継続基準値を下回ったため、平成25年1月31日に発令したインフルエンザ警報を本日解除した。

【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第10週採取分 (3.4~3.10)	第11週採取分 (3.11~3.17)	第12週採取分 (3.18~3.24)
インフルエンザウイルス解析中	0件	1件	0件
RSウイルス	3件	2件	0件
アデノウイルス	4件	1件	0件
単純ヘルペスウイルス	2件	0件	1件
サイトメガウイルス	1件	0件	0件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

年齢群	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
報告週												
2013年 第4週	21.3	28.5	16.7	5.6	5.2	7.7	6.9	4.1	2.4	1.1	0.6	2,850
第5週	20.3	29.9	16.4	4.8	5.6	8.0	5.9	3.9	2.8	1.3	1.2	2,603
第6週	19.0	29.5	19.6	4.3	4.5	6.8	6.3	4.3	3.3	1.2	1.1	2,036
第7週	21.9	26.4	15.3	4.2	5.2	7.2	7.2	5.0	3.2	2.2	2.3	1,146
第8週	21.2	27.7	17.6	3.7	5.2	6.8	5.4	4.9	3.6	2.6	1.5	1,008
第9週	23.1	27.3	20.4	3.8	3.2	6.6	6.4	3.8	2.5	1.3	1.6	761
第10週	22.5	29.2	17.3	4.3	5.0	7.5	4.5	3.9	2.9	2.0	1.1	561
第11週	20.3	31.7	11.2	3.7	6.1	8.8	4.3	4.8	3.7	3.5	1.9	375
第12週	21.6	30.0	14.1	3.8	0.9	6.1	8.0	4.7	4.7	1.9	4.2	213

インフルエンザ定点
インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。
宮城県:51定点
仙台市:42定点
合計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第10週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では愛知県(27.27)、福井県(21.38)、鹿児島県(21.09)、徳島県(20.97)、広島県(20.66)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は1,081例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は2週連続で増加した。佐賀県(1.13)、宮崎県(1.03)、山形県(0.97)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は3週連続で増加した。石川県(8.21)、鳥取県(5.68)、山形県(5.67)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は3週連続で増加した。福井県(17.50)、大分県(17.06)、熊本県(16.04)が多い。水痘: 報告数は増加した。宮崎県(3.81)、沖縄県(3.56)、大分県(3.44)が多い。手足口病: 報告数は増加した。沖縄県(1.68)、福岡県(1.38)、島根県(0.96)が多い。伝染性紅斑: 報告数は減少した。富山県(0.41)、鳥取県(0.21)、新潟県(0.20)が多い。百日咳: 報告数は増加した。福井県(0.14)、愛媛県(0.08)、新潟県(0.07)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は横ばいであった。長崎県(0.48)、新潟県(0.07)、福岡県(0.07)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は増加した。山形県(1.40)、福井県(1.14)、秋田県(0.91)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は減少した。埼玉県(1.89)、宮城県(1.58)、青森県(1.17)が多い。